

【五條市】
校務 DX 計画

文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育 DX を推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、本市において、次に掲げる事項を重点的に推進する。

1. 校務系・学習系ネットワークの統合

(1) 現状

- ①セキュリティ上の観点から校務系・学習系ネットワークが分離されているため、それぞれの業務で端末を使い分ける必要があり、教職員の負担が増加している。
- ②学習系で生成される膨大な学習データと校務系のデータを容易に連携できず、教育データの有効活用が阻害されている。

(2) 計画

- ①ゼロトラストセキュリティの考え方に基づき、多要素認証や詳細なアクセス制御などのセキュリティ対策を十分に講じた上で、校務系・学習系ネットワークの統合を検討する。
- ②校務のクラウド化を促進し、教育データの連携を強化することで、教職員の働き方改革と教育の質の向上を目指す。

2. 積極的なクラウドの活用

(1) 現状

「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」から本市では職員会議資料のペーパーレス化について学校間で大きな差が見られた。

(2) 計画

- ①市内全校において、研修等を行いクラウドの活用を推進し、会議資料についてはクラウド上でデータを共有・保存することで、資料の印刷や整理、配布の作業を削減する。
- ②データをクラウド上に保存することで、場所と時間を選ばず参照できるようになり、業務の効率化及び質の向上を実現する。
- ③クラウド活用を職員会議だけでなく、校内研修や教育委員会等の関連部署との会議など校務全般に展開することを目指す。

3. 不必要な押印の廃止、FAX の利用見直し

(1) 現状

学校と学校外のやりとりで押印・署名が必要な書類が存在し、校務 DX 化を阻害する要因となっている。

(2) 計画

- ①押印・署名の必要性を精査しペーパーレス化及び働き方改革を推進する。
- ②FAX の利用についても、汎用クラウドツールを使用するよりも効率的な場合を除き利用を制限することで、紙ベースの仕事を削減し柔軟な働き方を推進します。